

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 国語 出題のねらい等

	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
①	1	(1)	ア	伝統的な言語文化と国語の特質	小6 1年	「はけん」と読むこと	小学校6年配当の「派」と中学校1年までに学習する「遣」を組み合わせた熟語を「はけん」と読むこと。					○	○	
			イ	伝統的な言語文化と国語の特質	小5 小6	「けんとう」と読むこと	小学校5年配当の「検」と小学校6年配当の「討」を組み合わせた熟語を「けんとう」と読むこと。							
			ウ	伝統的な言語文化と国語の特質	小6 小5	「たんさ」と読むこと	小学校6年配当の「探」と小学校5年配当の「査」を組み合わせた熟語を「たんさ」と読むこと。							
			エ	伝統的な言語文化と国語の特質	1年 小3	「けんじつ」と読むこと	中学校1年までに学習する「堅」と小学校3年配当の「実」を組み合わせた熟語を「けんじつ」と読むこと。							
②		(2)		伝統的な言語文化と国語の特質	1年 小2	「歓声」と書くこと	中学校1年までに学習する「歓」と小学校2年配当の「声」を組み合わせた熟語「歓声(かんせい)」を正しく書くこと。					○	○	
③		(3)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)イ(オ) 相手や目的に応じて文章の形態があることについて理解すること	手紙の後付けの書き方を理解していること。					○	○	
④		(4)		伝統的な言語文化と国語の特質	小3 小4	(1)イ(カ) 必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を身に付けること	漢和辞典の使い方を理解し、「包」が五画であることを理解していること。					○	○	
⑤		(5)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(2) 書写イ 漢字の行書の基本的な書き方を理解して書くこと	行書の点画のつながりや大きさのバランスを考えて書くこと。					○	○	
⑥		(6)	① ② ③	伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)イ(エ) 単語の類別について理解すること	単語「静かな」が「静かだ」という形容動詞、「大きな」がその性質から連体詞、「小さい」が形容詞であると正しく分類すること。					○	○	
⑦	2	(1)		話すこと・聞くこと	2年	ウ 目的や状況に応じて資料等を効果的に活用して話すこと	目的に応じて聞き手に分かりやすく話すこと。		○				○	
⑧		(2)		話すこと・聞くこと	2年	イ 異なる立場を想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話すこと	自分の考えを明確にするために、話の論理的な構成や展開などを工夫して、意見を述べること。		○				○	
⑨		(3)		話すこと・聞くこと	2年	ウ 目的や状況に応じて資料等を効果的に活用して話すこと	説明に用いるスライドの効果を踏まえて話すこと。		○					○
⑩				話すこと・聞くこと	2年	(関心・意欲・態度)	自分の考えをまとめ、伝えたいことを的確に話そうとすること。	○						○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況をみる問題として出題しています。

平成30年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 国語 出題のねらい等

	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
⑪	3	(1)		読むこと	2年	イ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること	「コペル君の体験」の内容を読み取ること。				○		○	
⑫		(2)		読むこと	1年	イ 目的に応じて必要な情報を選択して整理すること	文脈上から「天動説のような考え方」と同意で表現されている箇所をとらえること。				○		○	
⑬		(3)		読むこと	2年	オ 文章を読んで理解したことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすること	文章の内容を正確に理解し、自分の経験と結び付けること。				○			○
⑭				読むこと	2年	(関心・意欲・態度)	主張と例示との関係をとらえ、文章を読み、自分の考えをまとめようとする。	○						○
⑮	4	(1)		書くこと	2年	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること	文章の構成の工夫をとらえること。			○			○	
⑯		(2)		書くこと	1年	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること	資料1～2に示されたデータから、分かったことについて正しく読み取り一文にまとめること。			○				○
⑰		(3)		読むこと	2年	イ 文章全体と部分の関係、例示の効果を考え、内容の理解に役立てること	資料3の文章の内容を読み取ること。				○		○	
⑱		(4)		読むこと	2年	イ 文章全体と部分の関係、例示の効果を考え、内容の理解に役立てること	資料4の文章の内容を読み取ること。				○			○
⑲		(5)		書くこと	2年	ウ 事実や事柄、意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書くこと	考えの根拠となる事柄を明らかにし、自分の生活を振り返って、自分の考えを分かりやすく文章に書くこと。			○				○
⑳				書くこと	2年	(関心・意欲・態度)	条件に合わせて自分の考えを書こうとする。	○						○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。